

開催日:平成16年6月14日

## 会議名:平成16年 文教市民委員会

- セーフティーボランティア保険
- 学校警備における警備員の配置体制

### 橋本紀子議員

---

このたび補正予算で小学校費で、傷害保険料63万円が計上されていますけれども、このセーフティーボランティア保険の導入について、その中身についてあわせてお答えいただきたいと思います。

### 金築学校教育部参事

---

昨年来、小学生の児童が登下校中、下校後、不審者から暴力行為等被害に遭うという事案が起きました。議員各位、市民の皆様におかれましては、ご心配をおかけしているところでございます。このような全国的な状況に対しまして、本市におきましては地域の子どもたちは地域で守ろうという、大変地域の幅広い動きが進んでおります。具体的には、各小学校におきましては、教職員が保護者及び地域住民の方々と協力をしまして、集団登下校、正門の立ち番、校区内のパトロールなどを実施するなど、セーフティーボランティアの取り組みを進めており、教育委員会としても、支援策としてこれを検討してきたところでございます。本年になりまして新しい状況としまして、4月下旬から5月上旬にかけて、インターネットの掲示板に、高槻、島本の小学生を殺すという脅迫文が、3度にわたって掲載されるという事象が生じてまいりました。これらに関しましては、かなりの多くの方が学校を守る、子どもを守るという形で立ち上がっていただきました。大体の概略でございますけれども、登録して学校を守ろうというボランティアに参加していただいた人が1,200名。登録はしておられないものの、臨時的であれ、学校を守らなあかんということで協力をしていただいた方が約3,000名おります。こういう状況にかんがみまして、教育委員会として、セーフティーボランティアを支援策の一環としまして、今回、保険加入を緊急に実施することを決めた次第でございます。

### 橋本紀子議員

---

中身についてよくわかりました。直接ではありませんが、これにかかわって、関連して幾つかのご質問をさせていただきたいと思います。この4月、地域教育協議会や、あるいは地域のさまざまな組織の方々が中心になって、九中ブロックにおきまして、防災行政無

線というので、子どもたちが下校するときに、放課後2度ばかり放送を流されておりました。その取り組みについては試行的に行ったと聞いているわけですが、これに関して、試行的に行った結果、教育委員会としてはどのように評価されていますか。また、あわせて、ほかの地域への拡大についても、どのようにされるおつもりか、お聞かせいただきたいと思います。

#### 金築学校教育部参事

---

ただいまご指摘の、第九中学校区のブロックにおきまして、昨年度終わりから今年度の初めにかけて、子どもたちの安全確保に向けて、防災行政無線の試行が実施されました。当該校の校長や地域教育協議会会長から意見を集約しましたところ、1点は、子どもたちへの注意が喚起できた。2点目は、犯罪への抑止力になった。3点目は、地域住民の防犯意識が高揚したという点で、大きな効果があったと報告を受け、教育委員会もそう認識しております。現在、本市危機管理課と連携しまして、今後の有効活用について取り組みを進めておる段階でございます。

#### 橋本紀子議員

---

他校への拡大についてはいかがですか。

#### 金築学校教育部参

---

有効活用というのは、他校のブロックについても検討していくという方向でございます。

#### 橋本紀子議員

---

3点の効果があるということが明確になっているのでありましたら、ぜひ拡大もお図りいただきたいと要望したいと思います。セーフティーボランティア保険から、えらく拡大して申しわけないんですが、聞きたいことをまとめさせていただきたいと思います。1つは、現在行われている学校警備なんですけれども、お隣の茨木市や摂津市では、校門前にセーフティーボックスですとか、あるいは受付要員を配置する等々の具体的な動きがあるわけですし、それと関連して高槻市でも、こういったセーフティーボランティア保険に加入をされるということで、支援をしていくということだろうと思っています。現在、学校では警備員さんが配置されています。この警備員さんの配置体制がどのようになっているかということと、それから警備員さんをもう少し有効に活用できないかということについてお尋ねしたいと思います。

#### 四宮学務課長

---

ただいま、学校警備における警備員の配置体制についてのお尋ねですが、現在、本市の小学校及び中学校におきましては、月曜日から金曜日まで、午後4時半から9時まで、土曜日につきましては午前8時から午後9時まで、日曜日は午前8時から午後6時まで警備員を1名配置いたしております。なお、夏休み等の長期休業期間につきましては、月曜日から金曜日までは、4時から午後9時まで警備員を配置させております。現在の警備体制につきましては、学校施設内にある物件の火災、盗難防止等を目的に行っており、学校職員の勤務時間終了後、施錠の戸締り、点検などを行うため警備員を配置しております。現行の警備業務の中で、子どもたちの安全にどのようにかかわっていくかにつきましては、課題整理が必要と考えておりますので、よろしくお願いたします。

### 橋本紀子議員

---

先日いただきました、高槻市の次世代育成支援対策行動計画ニーズ調査の、調査結果報告書というのがありますが、この中の小学校のところで、小学生が2時から4時ぐらいまで過ごす場所についてですけれども、学校で過ごすというのが53%、半数を超える子どもたちがその時間帯、やはり学校に、低学年ですと戻ってきて過ごしているという調査があるわけです。そういったことを受けまして、今、4時半から9時までの警備体制ですが、せめてそれを前倒し、ずらすなり加えるなりということで、2時間でも1時間でも前に持ってきていただければ、非常に放課後の安全が確保されるのではないかと考えておりますので、さまざまな今言われたような課題があると思いますので、早急にその課題を整理していただきまして、一度ご研究、ご検討をいただきたいと思っています。これは要望です。もう1つですけれども、現在、学校開放というのが行われていまして、各学校開放運営委員会によりまして、学校体育施設について、学校開放事業を委託をされているわけです。その利用するところが運動場であったり、プールであったりということになってはいますが、そこで学校開放のときに不審者があらわれたときの危機管理と、あわせてその場合の学校開放管理運営委員会で、危機管理マニュアルが作成されているかどうか、この点についてお聞きしたいと思います。

### 田畑スポーツ振興課長

---

高槻市では、地域に開かれた学校を目指し、どの学校も学校開放は盛んな地域と言われているところでございます。当然、利用する時間帯が夜間とか土曜日、日曜日、祝日など、教師等が不在となる時間となりますので、利用者の安全確保等、安全管理につきましては、徹底を図っていただいているところでございます。学校開放の本年度当初の説明会におきましても、学校周辺の子どもの安全対策と、また学校における、これは違うんですけど禁煙対策とを重ねて重点的にお願いしているところでございます。特に安全対策としては、学校開放中である、ないを問わず、不審者を見かけた場合には通報をお願いしております。

学校開放運営委員会では、具体にはおのおの実情にあわせて柔軟に対応していただいておりますが、例えば学校としっかり連絡をとり、不審者の発生などの情報を収集し、これを連絡網等を利用して地域に注意を呼びかけるとともに、利用に関しましては、指導者等の大人が周囲に目を光らせ、学区内で地域では見かけない人がいれば気を配り、また不審な行動があれば、毅然とした態度で臨むことを取り決めようとしているように聞いております。また、不審者があらわれた場合の危機管理マニュアルでございますが、各学校開放運営委員会とも、高槻市立学校・園における危機管理マニュアルに準じて、学校開放時の安全管理に努めているところでございますが、学校開放運営委員会独自でマニュアルを作成しているところは把握しておりません。今後は、地域と学校が連携して、児童生徒の安全確保に努めるという観点から、マニュアルのひな型の作成など、各学校開放管理運営委員会でのマニュアル作成に向けた指導に努めてまいりたいと考えております。

### 橋本紀子議員

---

ありがとうございました。最後です。今、私の地域でも、子どもさんがいらっしゃる、いらっしゃらないにかかわらず一番関心があるのは、学校の安全と子どもたちの安全です。さまざまな事件も立て続けに起こっておりまして、本当に先が不安な状況になっています。学校安全については、これから高槻市としても、学校はもとより地域に対する支援についても、特段をお願いをしたいと思います。そこで最後に1つお聞きいたします。学校安全全体にかかわって、今後の方向性について、どのようにお考えかお聞かせいただきたいと思っております。

### 金築学校教育参事

---

学校安全に関しまして、今後の方向性については、大きく2つに分けて考えております。1点は、学校・園内における安全対策でございます。学校・園内における幼児、児童生徒の安全確保について、不審者を学校に入れないことが第一であり、不審者が学校・園に入りにくい、入れない状況をつくるということが一番でございます。それも、やはり保護者、地域住民等の協力を得ながら、地域、社会が一体となって子どもを守るというシステムをつくるという、このことが最も大事であると思っております。例えば、昨年度でございますけれども、大冠小学校におきましては、大冠小学校に脅迫の電話がかかったことに対応しまして、校門前にテントを常設して、保護者の方々がボランティアで来校者のチェックをされておりました。非常に機敏に対応され、地域の力が、学校の安全を守るために本当に機能したという例として理解しております。2点目は、登下校時及び地域社会における安全対策でございます。このことに関しては、関係諸機関、とりわけ高槻警察署との協力を常にとっております。この間、公用車の側面に、子ども安全パトロールのステッカーを掲示いたしました。市バスでも安全を啓発する車内放送を入れております。阪急タクシー等の企

業におかれましては、連携として、安全啓発の取り組みを進めていただいているところ  
でございます。今後、地域社会に向けて、学校安全を、子どもたちを守るという啓発と意識  
の定着を、きちんと確実に取り組んでまいる所存でございます。

#### 橋本紀子議員

---

ありがとうございます。今の答弁の中にもありましたが、大冠小学校では、事件を受け  
て早くから校門前にテントを設けて、地域の方がそこに詰めていらっしゃるということ  
です。これから夏に向かいます中で、大変、炎天下、暑い中で、このセーフティーボラン  
ティアの方々にご協力をいただくわけですから、テントなど設置するよう、そういったこと  
も促進していただき、子どもの安全と地域の安全を守っていただくために、ご努力いた  
だきますようお願いをしまして、終わらせていただきます。